



## 2019年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2019年5月7日

上場会社名 株式会社 NEW ART HOLDINGS  
 コード番号 7638 URL <http://www.newart-ir.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 白石 幸生

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 松橋 英一

TEL 03-3567-8091

定時株主総会開催予定日 2019年6月27日 配当支払開始予定日

2019年6月28日

有価証券報告書提出予定日 2019年6月28日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期の連結業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	17,585	22.8	2,526	210.2	2,388	229.3	916	872.8
2018年3月期	14,320	5.6	814	49.3	725	54.1	94	91.4

(注) 包括利益 2019年3月期 917百万円 (758.7%) 2018年3月期 106百万円 (90.2%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	2.81		13.0	16.4	14.4
2018年3月期	0.29		1.4	5.3	5.7

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 百万円 2018年3月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	15,290	7,474	48.9	22.93
2018年3月期	13,852	6,654	48.0	20.42

(参考) 自己資本 2019年3月期 7,474百万円 2018年3月期 6,654百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	1,649	253	684	2,002
2018年3月期	830	770	138	1,282

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期		0.00		0.30	0.30	97	103.4	1.4
2019年3月期		0.00		1.00	1.00	325	35.6	4.6
2020年3月期(予想)		0.00		20.00	20.00		18.4	

(注) 当社は、2019年10月1日を効力発生日として普通株式20株につき1株の割合をもって株式併合を実施する予定であるため、2020年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合を考慮した金額を記載しております。なお、株式併合を考慮しない場合の2020年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は1円00銭となります。詳細は、5月7日公表の「株式併合および定款の一部変更に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,000	12.3	1,250	78.8	1,230	74.0	800	113.0	2.45
通期	18,400	4.6	2,750	8.8	2,710	13.5	1,770	93.1	5.43

## 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数

2019年3月期	332,527,514 株	2018年3月期	332,527,514 株
2019年3月期	6,581,971 株	2018年3月期	6,581,254 株
2019年3月期	325,945,895 株	2018年3月期	327,370,580 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては[添付資料]P4、「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(セグメント情報等) .....	15
(1株当たり情報) .....	20
(重要な後発事象) .....	20

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度（2018年4月1日～2019年3月31日）におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善等を背景に、引き続き緩やかな回復基調が続きました。個人消費も緩やかな持ち直しの動きで推移しました。一方、先行きについては、通商問題の動向やアジア新興国等における経済・政策の不確実性、金融資本市場の変動の影響等に留意する状況が続いています。

このような経済状況のもと、当社グループは、中長期における事業規模の拡大及び収益力の向上に向けて、中期経営計画に基づき、国内既存事業の拡大、海外展開の推進、新規事業の育成など様々な取り組みを進めました。

また、2018年10月に、株式会社NEW ARTから株式会社NEW ART HOLDINGSに商号変更し、ホールディングカンパニーとしての経営基盤を整えてまいりました。

当連結会計年度における当社グループの業績は、売上面では、主力のブライダルジュエリー事業が好調に推移したことに加えてアート事業の絵画取引の増加により、売上高は175億85百万円（前期比22.8%増）となりました。利益面では、ブライダルジュエリー事業の売上増加に加えて全身美容事業の黒字化により、営業利益は25億26百万円（前期比210.2%増）、経常利益は23億88百万円（前期比229.3%増）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、仮想通貨関連事業（IT関連事業）の撤退に伴う貸倒引当金繰入額の計上及び結婚式場に係る固定資産（チャペル）の減損処理の実施等により特別損失7億8百万円を計上し、9億16百万円（前期比872.8%増）となりました。

当連結会計年度における業績につきましては、前期と比べ大幅な増収増益となり、過去最高の売上高、営業利益、経常利益となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

第3四半期連結会計期間より、従来の報告セグメントである「ジュエリー事業」および「エステ事業」の名称を、「ブライダルジュエリー事業」および「全身美容事業」に変更しています。当該セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

#### ① ブライダルジュエリー事業

当連結会計年度におけるブライダルジュエリー事業の売上高は125億38百万円（前期比28.2%増）、セグメント利益は29億円（前期比87.5%増）となりました。

ブライダルジュエリー事業につきましては、国内においてテレビCMやWEB広告等の集客強化により来店客数が増加すると同時に、販売員のスキル向上により成約率も上昇しました。さらに海外においても国内同様に順調に推移したことから売上高が増加し、赤字幅が減少したため、前期と比べ大幅な増収増益を達成することができました。

新規の店舗展開につきましては、2019年3月に台湾で3店舗目となる銀座ダイヤモンドシライシ新光三越台南西門店（新天地店）を台湾台南市にオープンしました。2019年4月末における「銀座ダイヤモンドシライシ」の国内店舗は44店舗、海外店舗は4店舗、「エクセルコ ダイヤモンド」の国内店舗は28店舗、海外店舗は1店舗になります。

#### ② 全身美容事業

当連結会計年度における全身美容事業の売上高は27億73百万円（前期比3.6%増）、セグメント利益は74百万円（前期はセグメント損失2億82百万円）となりました。

全身美容事業につきましては、売上拡大及び利益率の改善を図るための施策として、店舗統合、顧客層の見直し、商品構成の変更、化粧品事業への取り組み、広告宣伝費の見直し等を実施した結果、黒字化が達成され、前期と比べ増収増益となりました。2019年4月末における国内店舗は25店舗、海外店舗は2店舗となります。

#### ③ アート事業

当連結会計年度におけるアート事業の売上高は18億75百万円（前期比27.0%増）、セグメント利益は73百万円（前期比3.7%減）となりました。

アート事業につきましては、第4四半期に絵画取引が増加しましたが、粗利率が低下したため、前期と比べ増収減益となりました。同事業においては、株式会社ニューアート・フィンテックにおいて、アートと金融を組み合わせた新規事業としてアートファンドの立ち上げの実現に向けてパートナー企業と準備を堅実に進めており、新しいビジネス展開にも注力しています。

#### ④ その他事業

当連結会計年度におけるその他事業の売上高は4億11百万円（前年同期比4.9%増）、セグメント利益は31百万円（前期はセグメント損失1億81百万円）となりました。

その他事業につきましては、スポーツ関連事業の株式会社ニューアート・クレイジーにおいて、ゴルフの一流シャフトブランドである「CRAZY」の認知拡大を図ると同時に新製品開発に力を入れています。

また、2018年12月に、当社が保有するIT関連（仮想通貨関連）事業の株式会社ニューアート・テクノロジーの全株式を売却したことにより、同社は第3四半期連結会計期間より連結子会社でなくなりました。

注) セグメントの業績数値は、セグメント間の内部売上高または振替高を調整前の金額で記載しています。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末比16億43百万円増加（前連結会計年度末比16.9%増）し、113億79百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金の増加8億89百万円並びに現金及び預金の増加7億19百万円などによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末比2億4百万円減少（同5.0%減）し、39億11百万円となりました。これは、工具、器具及び備品（純額）の減少及び減価償却累計額の増加により有形固定資産の減少1億75百万円などによるものです。

この結果、総資産は前連結会計年度末比14億38百万円増加（同10.4%増）し、152億90百万円となりました。

(負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末比9億82百万円増加（前連結会計年度末比16.5%増）し、69億45百万円となりました。これは、前受金の増加5億20百万円及び未払法人税等の増加3億45百万円などによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末比3億63百万円減少（同29.5%減）し、8億70百万円となりました。これは、長期借入金の減少5億67百万円などによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末比6億19百万円増加（同8.6%増）し、78億16百万円となりました。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末比8億19百万円増加（前連結会計年度末比12.3%増）し、74億74百万円となりました。これは、剰余金の配当97百万円がありました一方、親会社株主に帰属する当期純利益9億16百万円により、利益剰余金が8億18百万円増加したことなどによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は48.9%（前連結会計年度末は48.0%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下、資金という）は、前連結会計年度末に比べ、7億19百万円増加し、20億2百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況と要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、16億49百万円（前年同期は8億30百万円の支出）となりました。これは主として、税金等調整前当期純利益18億16百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、2億53百万円（前年同期比5億17百万円減）となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出1億61百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、6億84百万円（前年同期は1億38百万円の収入）となりました。これは主として、短期及び長期借入れによる収入14億98百万円に対して、短期及び長期借入金の返済による支出20億61百万円によるものであります。

(4) 今後の見通し

当社は、持株会社体制のもと各事業の責任体制の明確化を図り、事業間のシナジー効果の最大化、機動的な組織再編、戦略的な事業提携、コーポレートガバナンスの強化等、グループ各社が事業環境の変化に柔軟に対応できる体制を構築することで、更なる事業の成長及び企業価値の最大化を目指してまいります。

当社は、ブライダルジュエリー事業が好調に推移していることを主要因として、前期に策定した中期経営計画(2019年3月期から2021年3月期)の数値目標を2年前倒しで達成することができました。

次期においては、海外事業の新規出店を着実に行いつつ集客力を強化し、売上の向上に努め、早期黒字化に向けた取り組みを推進します。国内及び海外双方の事業展開により、高い成長を実現してまいります。

国内既存事業の更なる拡大、海外展開の推進、新規事業の育成、利益を生み出す筋肉質な組織の構築を図ることで、売上高を拡大し、売上高営業利益率20%以上を目指してまいります。

ブライダルジュエリー事業につきましては、将来の事業展開を見据えた、積極的なマーケティング活動及びブランドのイメージ強化に加えて、店舗営業力の強化に取り組んできました。次期につきましては、国内店舗の業績向上に一層注力し、新規出店のみならず、引き続き既存店の統廃合も推進してまいります。また、エクセルコダイヤモンドのブランド認知の向上を図ってまいります。全身美容事業につきましては、中期的な売上の拡大及び収益性の向上を図るため、顧客満足度や会員継続を高める施策を実施しつつ、構造改革を推し進めています。お客様のニーズにあった新しい商品やサービスの開発を推進し、化粧品や栄養食品等の物販商品の販売強化を図ります。

アート事業につきましては、現在行なっている美術品の販売に加えて、新たな事業を開始することを検討しており、パートナー企業と準備を進めています。

スポーツ関連事業につきましては、ゴルフ製品の国内市場の強化に加えて、海外にファンが多いことより、海外の販売ルートの開拓を進めています。また、製造部門の強化、新製品の開発を積極的に行ってまいります。

以上の結果、当社グループの2020年3月期の連結業績予想は、売上高184億円、営業利益27億5千万円、経常利益27億1千万円、親会社株主に帰属する当期純利益17億70百万円を見込んでいます。

※本資料の上記の予想は、発表日現在において、入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は業況の変化や予期せぬ事象の発生などによって、大きく異なる結果となる可能性があります。

当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは、以下のとおりであります。

	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
自己資本比率 (%)	55.0	54.8	52.5	48.0	48.9
時価ベースの自己資本比率 (%)	55.7	114.2	72.5	65.9	59.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	1,030.5	130.7	—	—	248.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	7.8	96.2	—	—	45.7

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(注4) 営業キャッシュ・フロー及び利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動によるキャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」を用いております。

(注5) 2017年3月期及び2018年3月期におけるキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオの指標につきましては、営業キャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針です。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,282,476	2,002,017
受取手形及び売掛金	1,557,414	2,447,329
商品及び製品	6,543,571	6,596,204
仕掛品	64,743	75,750
原材料及び貯蔵品	137,109	152,734
前払費用	145,182	124,903
その他	227,948	212,494
貸倒引当金	△222,557	△232,172
流動資産合計	9,735,888	11,379,263
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,247,889	2,479,375
減価償却累計額	△983,762	△1,063,578
減損損失累計額	△278,510	△406,410
建物及び構築物 (純額)	985,616	1,009,385
機械装置及び運搬具	25,396	33,688
減価償却累計額	△17,970	△21,401
機械装置及び運搬具 (純額)	7,426	12,287
工具、器具及び備品	1,979,801	1,989,378
減価償却累計額	△676,425	△715,960
減損損失累計額	△433,352	△502,356
工具、器具及び備品 (純額)	870,023	771,061
リース資産	118,724	148,220
減価償却累計額	△7,287	△27,983
リース資産 (純額)	111,436	120,237
建設仮勘定	115,325	940
有形固定資産合計	2,089,828	1,913,911
無形固定資産		
のれん	376,894	347,951
その他	89,215	68,568
無形固定資産合計	466,109	416,519
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,117,287	1,095,984
繰延税金資産	58,465	196,144
その他	463,565	812,742
貸倒引当金	△79,057	△524,021
投資その他の資産合計	1,560,261	1,580,849
固定資産合計	4,116,200	3,911,280
資産合計	13,852,088	15,290,544

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	230,000	320,002
短期借入金	2,828,799	2,626,800
1年内返済予定の長期借入金	584,780	790,868
リース債務	23,233	30,643
未払金及び未払費用	739,592	719,803
未払法人税等	437,796	783,466
前受金	887,598	1,407,764
その他	230,986	266,368
流動負債合計	5,962,786	6,945,716
固定負債		
長期借入金	881,063	313,214
リース債務	86,215	88,650
退職給付に係る負債	185,906	207,397
その他	81,475	261,551
固定負債合計	1,234,660	870,814
負債合計	7,197,447	7,816,531
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,617,252	2,617,252
資本剰余金	2,376,153	2,376,153
利益剰余金	1,853,954	2,672,615
自己株式	△202,098	△202,117
株主資本合計	6,645,262	7,463,903
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	9,278	10,109
その他の包括利益累計額合計	9,278	10,109
非支配株主持分	100	-
純資産合計	6,654,641	7,474,012
負債純資産合計	13,852,088	15,290,544

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	14,320,842	17,585,301
売上原価	5,775,891	6,875,015
売上総利益	8,544,950	10,710,285
販売費及び一般管理費	7,730,496	8,183,615
営業利益	814,454	2,526,670
営業外収益		
受取利息	562	495
その他	2,721	2,816
営業外収益合計	3,283	3,312
営業外費用		
支払利息	38,587	36,337
為替差損	36,614	32,022
貸倒引当金繰入額	12,071	72,042
その他	5,350	1,447
営業外費用合計	92,624	141,849
経常利益	725,113	2,388,132
特別利益		
子会社株式売却益	—	136,419
特別利益合計	—	136,419
特別損失		
減損損失	68,602	278,554
子会社株式評価損	—	48,095
貸倒引当金繰入額	—	372,921
その他	0	8,553
特別損失合計	68,602	708,125
税金等調整前当期純利益	656,510	1,816,426
法人税、住民税及び事業税	522,439	1,037,663
法人税等調整額	39,865	△137,678
法人税等合計	562,305	899,984
当期純利益	94,205	916,442
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	94,205	916,442

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益	94,205	916,442
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	12,618	830
その他の包括利益合計	12,618	830
包括利益	106,823	917,272
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	106,823	917,272
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,617,252	2,376,152	1,993,111	△2,074	6,984,441
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			94,205		94,205
連結範囲の変動			△233,361		△233,361
自己株式の処分		1		7	8
自己株式の取得				△200,030	△200,030
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	1	△139,156	△200,023	△339,178
当期末残高	2,617,252	2,376,153	1,853,954	△202,098	6,645,262

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△3,339	△3,339	—	6,981,101
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益				94,205
連結範囲の変動				△233,361
自己株式の処分				8
自己株式の取得				△200,030
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	12,618	12,618	100	12,718
当期変動額合計	12,618	12,618	100	△326,460
当期末残高	9,278	9,278	100	6,654,641

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,617,252	2,376,153	1,853,954	△202,098	6,645,262
当期変動額					
剰余金の配当			△97,781		△97,781
親会社株主に帰属する当期純利益			916,442		916,442
自己株式の処分		△0		1	1
自己株式の取得				△21	△21
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△0	818,661	△19	818,641
当期末残高	2,617,252	2,376,153	2,672,615	△202,117	7,463,903

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	9,278	9,278	100	6,654,641
当期変動額				
剰余金の配当				△97,781
親会社株主に帰属する当期純利益				916,442
自己株式の処分				1
自己株式の取得				△21
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	830	830	△100	730
当期変動額合計	830	830	△100	819,371
当期末残高	10,109	10,109	—	7,474,012

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	656,510	1,816,426
減価償却費	189,571	246,547
減損損失	68,602	278,554
のれん償却額	28,943	28,943
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	102,195	454,578
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△8,155	21,491
受取利息及び受取配当金	△562	△495
支払利息	38,587	36,337
為替差損益 (△は益)	20,423	621
固定資産除却損	0	8,553
子会社株式売却益	—	△136,419
子会社株式評価損	—	48,095
売上債権の増減額 (△は増加)	△288,533	△939,951
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,258,859	△83,316
仕入債務の増減額 (△は減少)	57,172	90,002
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	△3,179	△5,741
前受金の増減額 (△は減少)	△79,437	520,657
未払又は未収消費税等の増減額	△4,068	91,136
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△22,910	△147,254
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	31,069	6,548
その他	△16,515	△21,001
小計	△489,144	2,314,314
利息及び配当金の受取額	562	495
利息の支払額	△37,186	△36,135
法人税等の還付額	—	42,034
法人税等の支払額	△305,095	△670,991
営業活動によるキャッシュ・フロー	△830,865	1,649,717
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△40,000
定期預金の払戻による収入	—	40,000
有形固定資産の取得による支出	△575,791	△161,251
無形固定資産の取得による支出	△67,991	△12,159
敷金及び保証金の差入による支出	△40,159	△54,722
敷金及び保証金の回収による収入	9,124	41,396
長期貸付金の回収による収入	—	10,800
関係会社貸付けによる支出	—	△3,324
関係会社株式の取得による支出	△48,674	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△14,643
その他	△46,789	△59,205
投資活動によるキャッシュ・フロー	△770,280	△253,109
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	1,321,000	1,198,000
短期借入金の返済による支出	△1,457,201	△1,399,999
長期借入れによる収入	800,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△418,285	△661,760
セール・アンド・リースバックによる収入	103,311	—
リース債務の返済による支出	△10,624	△24,824
非支配株主からの払込みによる収入	100	—
自己株式の売却による収入	8	1
自己株式の取得による支出	△200,030	△21
配当金の支払額	—	△96,366
財務活動によるキャッシュ・フロー	138,278	△684,970

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,421	7,903
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,467,289	719,541
現金及び現金同等物の期首残高	2,606,248	1,282,476
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	143,517	—
現金及び現金同等物の期末残高	1,282,476	2,002,017

(5) 連結財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当連結会計年度より、「ジュエリー事業」及び「エステ事業」の報告セグメントの名称を、「ブライダルジュエリー事業」及び「全身美容事業」に変更しております。これは、当社グループが行う事業をより適切に表現するためによるものであります。

また、当該セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

前連結会計年度のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの名称を記載しております。

各セグメントの事業概要は以下のとおりであります。

セグメント区分	事業内容
ブライダルジュエリー事業	宝飾品の販売・サービス
全身美容事業	エステティックサロンの運営、化粧品等の販売
アート事業	美術品等の販売
その他事業	ゴルフ用品の販売等

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。

セグメント間の内部収益及び振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	ブライダル ジュエリー 事業	全身美容事 業	アート事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,776,483	2,676,696	1,476,506	391,156	14,320,842	—	14,320,842
セグメント間の内部売 上高又は振替高	794	—	—	1,149	1,943	△1,943	—
計	9,777,277	2,676,696	1,476,506	392,305	14,322,786	△1,943	14,320,842
セグメント利益又は損 失(△)	1,546,858	△282,922	75,787	△181,007	1,158,716	△344,262	814,454
セグメント資産	5,889,712	2,137,872	4,413,276	713,613	13,154,476	697,612	13,852,088
その他の項目							
減価償却費	89,518	69,762	5,195	18,874	183,350	6,220	189,571
のれんの償却額	—	21,119	—	7,823	28,943	—	28,943
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	601,328	78,264	—	55,591	735,185	5,535	740,720

(注) 1. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額には、各セグメントに配分していない全社資産701,854千円及びセグメント間債権債務消去△4,241千円を含んでおります。
- (3) 減価償却費の調整額は、各セグメントに配分していない全社資産に係る資産の減価償却費であります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、各セグメントに配分していない全社資産であります。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	ブライダル ジュエリー 事業	全身美容事 業	アート事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,536,596	2,761,746	1,875,537	411,420	17,585,301	—	17,585,301
セグメント間の内部売 上高又は振替高	1,834	12,036	—	239	14,110	△14,110	—
計	12,538,430	2,773,782	1,875,537	411,659	17,599,411	△14,110	17,585,301
セグメント利益	2,900,425	74,748	73,019	31,930	3,080,123	△553,453	2,526,670
セグメント資産	6,871,100	1,779,902	4,504,792	300,037	13,455,833	1,834,710	15,290,544
その他の項目							
減価償却費	154,534	64,018	3,810	19,347	241,710	4,836	246,547
のれんの償却額	—	21,119	—	7,823	28,943	—	28,943
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	355,782	23,245	—	19,027	398,054	1,554	399,608

(注) 1. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額には、各セグメントに配分していない全社資産1,854,355千円及びセグメント間債権債務消去△19,644千円を含んでおります。
- (3) 減価償却費の調整額は、各セグメントに配分していない全社資産に係る資産の減価償却であります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、各セグメントに配分していない全社資産であります。

## b. 関連情報

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

(単位:千円)

日本	台湾	その他	合計
1,661,496	427,726	605	2,089,828

## 3. 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

(単位:千円)

日本	台湾	その他	合計
1,499,585	413,722	603	1,913,911

## 3. 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

c. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報  
前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	ブライダルジュエ リー事業	全身美容事業	アート事業	その他事業	合 計
減損損失	49,555	19,046	—	—	68,602

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	ブライダルジュエ リー事業	全身美容事業	アート事業	その他事業	合 計
減損損失	13,932	12,045	—	252,576	278,554

d. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報  
前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	ブライダルジュエ リー事業	全身美容事業	アート事業	その他事業	合 計
当期償却額	—	21,119	—	7,823	28,943
当期末残高	—	344,946	—	31,947	376,894

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	ブライダルジュエ リー事業	全身美容事業	アート事業	その他事業	合 計
当期償却額	—	21,119	—	7,823	28,943
当期末残高	—	323,827	—	24,123	347,951

e. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報  
前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)  
該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)  
該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	20円42銭	22円93銭
1株当たり当期純利益金額	0円29銭	2円81銭

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	94,205	916,442
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	94,205	916,442
期中平均株式数(千株)	327,370	325,945

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。